



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)PDハウス太平	階数	2
建設地	札幌市東区北五十一一条東5丁目101-33, 101-37, 103-1の一部, 103-18の一部	構造	木造
建物用途	病院	平均居住人員	70人
竣工年	2024年2月 予定	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
敷地面積	2,638 m ²	評価の段階	実施設計段階評価
建築面積	1,066 m ²	評価の実施日	2023年4月10日
延床面積	2,100 m ²	作成者	
		確認日	
		確認者	

※ここに外観パースを貼り付けてください。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★ B+

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEI][BEIm] **0.67**

ZEB/ZEH-Mランク **非該当**

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

総合 ローコストでありながら、省エネルギーに配慮した老人施設を目指す	A 省エネルギー 省エネルギー機器を採択する
B 省資源等 特になし	C 緑化 特になし
D 蓄処理 特になし	

4 ほかの認証・評価制度の利用

(一財)住宅・建築SDGs推進センターのCASBEE認証	なし	BELS認証	なし	LEED認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用	2023/3/10 建築物エネルギー消費性能				

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 環境品質Q = 25 × (Qのスコア - 1)、環境負荷L = 25 × (5 - LRのスコア)より算出

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分				住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温										
2 外皮性能										
3 ゾーン別制御性										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境										
3.1 屋光利用										
1 屋光率										
2 方位別開口										
3 屋光利用設備										
3.2 グレア対策										
1 屋光制御										
3.3 照度										
3.4 照明制御										
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質										
4.2 換気										
1 換気量										
2 自然換気性能										

	3	取り入れ外気への配慮		—	1.0	0.50	1.0	0.33	
	4.3 運用管理				5.0	0.20		-	
	1	CO ₂ の監視		—		-		-	
	2	喫煙の制御		ビル全体の禁煙が確認されている。または、喫煙ブースなど、非喫煙者が煙に曝されないような対策が十分に取られている。	5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能						—	0.30	-	-
1 機能性					2.4	0.40	4.0	1.00	3.0
	1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	
	1	広さ・収納性		個室10㎡/床で、かつ多床室8㎡/床以上。		-	5.0	1.00	
	2	高度情報通信設備対応		—		-		-	
	3	バリアフリー計画		—	3.0	1.00		-	
	1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.5	0.40	
	1	広さ感・景観		住居・宿泊部の天井高2.5m以上。		-	4.0	0.50	
	2	リフレッシュスペース		—		-		-	
	3	内装計画		—	1.0	1.00	1.0	0.50	
	1.3 維持管理				3.0	0.30		-	
	1	維持管理に配慮した設計		—	3.0	0.50		-	
	2	維持管理用機能の確保		—	3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性					2.8	0.30		-	2.8
	2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)		—	3.0	0.80		-	
	2	免震・制震・制振性能		—	3.0	0.20		-	
	2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30		-	
	1	躯体材料の耐用年数		—	3.0	0.20		-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		省資源	3.0	0.20		-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		省資源	3.0	0.10		-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔		省資源	3.0	0.10		-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔		省資源	3.0	0.20		-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔		省資源	3.0	0.20		-	
	2.4 信頼性				2.4	0.20		-	
	1	空調・換気設備		—	3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		—	1.0	0.20		-	
	3	電気設備		—	3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		—	3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		—	2.0	0.20		-	
3 対応性・更新性					2.4	0.30	2.0	1.00	2.2
	3.1 空間のゆとり				1.0	0.30	1.0	0.50	

	1	階高のゆとり		—	1.0	0.60	1.0	0.60		
	2	空間の形状・自由さ		—	1.0	0.40	1.0	0.40		
	3.2 荷重のゆとり			—	3.0	0.30	3.0	0.50		
	3.3 設備の更新性				3.0	0.40		-		
	1	空調配管の更新性		—	3.0	0.20		-		
	2	給排水管の更新性		—	3.0	0.20		-		
	3	電気配線の更新性		—	3.0	0.10		-		
	4	通信配線の更新性		—	3.0	0.10		-		
	5	設備機器の更新性		—	3.0	0.20		-		
	6	バックアップスペースの確保		—	3.0	0.20		-		
Q3 室外環境(敷地内)						—	0.30	-	-	2.1
1	生物環境の保全と創出		緑化	—	1.0	0.30		-	1.0	
2	まちなみ・景観への配慮		緑化	—	3.0	0.40		-	3.0	
3	地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30		-	2.0	
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雪処理	—	2.0	0.50		-		
	3.2	敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化	—	2.0	0.50		-		
LR 建築物の環境負荷低減性										3.6
LR1 エネルギー						—	0.40	-	-	4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制		省エネ	BPI= 0.62 品確法=	モデル建物法	5.0	0.20		-	5.0
2	自然エネルギー利用		省エネ	—		3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化		省エネ	BEI= 0.67	モデル建物法	5.0	0.50		-	5.0
4	効率的運用					3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価					3.0	1.00		-	
	4.1	モニタリング	省エネ	—		3.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制	省エネ	—		3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価								-	
	4.1	モニタリング	省エネ	—					-	
	4.2	運用管理体制	省エネ	—					-	
LR2 資源・マテリアル						—	0.30	-	-	2.9
1	水資源保護					3.0	0.20		-	3.0
	1.1 節水			—		3.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無		—		3.0	0.70		-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		—		3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減					2.8	0.60		-	2.8
	2.1 材料使用量の削減		省資源	—		-	-		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		省資源	—		3.0	0.22		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		省資源	—		3.0	0.22		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		省資源	—		1.0	0.22		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		省資源	—		2.0	0.11		-	

	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	躯体と仕上げ材の分別可能、構造部材がユニット化されており容易に分解可能	5.0	0.22	-	-
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		-	3.0	0.30	-	-
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-
	1 消火剤	省資源	-	-	-	-	-
	2 発泡剤(断熱材等)	省資源	-	-	-	-	-
	3 冷媒	省資源	-	3.0	1.00	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	3.3
1	地球温暖化への配慮	省資源	建物外皮の熱負荷抑制に配慮	4.1	0.33	-	4.1
2	地域環境への配慮			2.6	0.33	-	2.6
	2.1 大気汚染防止	省資源	-	3.0	0.25	-	-
	2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 緑化 雪処理	-	2.0	0.50	-	-
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-
	1 雨水排水負荷低減	省資源	緑地の確保、砂利などの透水面の確保	4.0	0.25	-	-
	2 汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25	-	-
	3 交通負荷抑制		適切な量の自転車置場・駐車スペースの確保、管理車両・荷捌き用車両の駐車スペースの確保	5.0	0.25	-	-
	4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	-	3.0	0.25	-	-
3	周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	-
	1 騒音		-	-	-	-	-
	2 振動		-	-	-	-	-
	3 悪臭		-	-	-	-	-
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.67	-	-
	1 風害の抑制		-	3.0	0.70	-	-
	2 砂塵の抑制		-	-	-	-	-
	3 日照阻害の抑制		-	3.0	0.30	-	-
	3.3 光害の抑制			3.7	0.33	-	-
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		運用管理方法の検討、広告物に照明無し	4.0	0.70	-	-
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30	-	-



■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2021v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2021(ver.1.0)

1 建物概要

建物名称	(仮称)PDハウス太平	BEE	1.2	BEEランク	B+
建物用途	病院				
延床面積	2,100.3 m ²				

2 重点項目への取り組み

レーダーチャート



3. 重点項目のCASBEEスコア

A 省エネルギー (最高点 26.9 最低点 7.6)		合計		21.9点 / 26.9点	
Q1 温熱環境	スコア 1.8 / 2.3	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 4.0 / 4.0		
Q1 光・視環境	スコア 2.5 / 4.6	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.2 / 2.0		
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 10.0 / 10.0		
		LR1 効率的運用	スコア 2.4 / 4.0		
B 省資源等 (最高点 23.5 最低点 7.9)		合計		14.3点 / 23.5点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 0.6 / 1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 5.2 / 9.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 / 2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.3 / 1.7		
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 4.1 / 5.0		
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.2 / 4.4		
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)		合計		6.4点 / 15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 0.9 / 4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0 / 2.5		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 3.6 / 6.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 / 2.3				
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)		合計		0.0点 / 3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0 / 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 0.0 / 2.0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数